

知多を知り ロゴ考えて

市制50周年控え公募の学生にツアー

知多市は、来年度の市制

〓写真。

五十周年の記念ロゴマーク作成のため、マークのデザインを公募してくれる学生たちを対象に、市の歴史や自然などを知ってもらうツアーを開いた。

愛知教育大と名古屋造形大、名古屋芸術大のデザインなどを専攻する学生十人が参加。市職員の案内で、新舞子マリンパークや古い町並みの岡田地区、佐布里、歴史民俗博物館などを回り地元住民とも交流した。里山を整備している大興寺地区では、ヤマボウシやツバキなどを住民団体が育てていることを教わった



〓写真。知多市は初めてという愛知教育大四年の杉浦恵基さん(三)〓岡崎市〓は「近くに海も林もあり、自然が豊か。参考にしたい」と笑顔を見せた。名古屋造形大三

年の松田愛梨さん(三)〓小牧市〓は「ホームページで見る知多市とは違い、歴史も感じられた」と話した。

デザインは大学ごとに募った後、知多市の審査で複数の案を選び、市内の小中学生の投票で今年十月に決める。(福本英司)